

校長より児童の皆さんにメッセージ

「あいさつ、返事、思いやり」でいじめのない、
笑顔あふれる学校をつくりたい。

気づき、考え、行動する ～いじめ0（ゼロ）を目指して～

○6月の生活朝会では、全校児童に向けて校長が動画でメッセージを送りました。

※データ量が大きいいため、動画は省略しています。

※メッセージの内容（要点）は、次のページ（スライド）以降をご覧ください。

○家庭、地域の皆様にも、「あいさつ、返事、思いやり」でいじめのない、笑顔あふれる学校づくりに参画いただくようお願いいたします。

※本校のいじめ対策について、「いじめ防止対策基本方針」や「令和7年度学校だより5月号（校長あいさつ文）」等もご覧ください。

いじめている人へ

- いじめは相手をバカにする、からかう、下に見る（見下す）、否定する、決めつけるといった人の心から生まれる。
- らんぼうな言葉、きたない言葉、命令の言葉を使う人は、無意識に相手の心を傷つけていることがある。
- 例えば、世界で活躍する一流のスポーツ選手、アスリートは、らんぼうな言葉、きたない言葉を使わない。相手の心を傷つける言葉を使う選手が、信頼され尊敬を集めることはない。
- あなたがやめれば、あなたが変わればいじめはなくなる。
- あなたの行動。やめる、変えるのは、まずはあなた自身。

いじめをうけている人へ

- あなたが、つらい思いをがまんする必要はない。
- すぐに相談してほしい。
- 担任、同じ学年、違う学年、音楽、理科といった教科担当、保健室の先生など、どの先生でもだいじょうぶ。
- おうちの人に相談して、おうちの人から学校の先生に伝えてもらうのもよい。
- あなたには、いじめを受けず、安心して学習する権利がある。
- 自分だけでは解決できないこともある。なやみ続けたり、自分をきずつけたりせず、相談してほしい。

いじめをしない人へ

- ・ いじめに気付いたら、あなたはどうしますか。
- ・ 気づいたら、考えて、いじめをなくすために行動を。
- ・ 「だいじょうぶ？」 「相談にのるよ」 やさしい言葉かけ。
- ・ どうするのがよいか、いっしょに考える。
- ・ 友達と一緒に、もしくは友達のかわりに、あなたが先生やおうちの人に相談するのもよい。
- ・ 「いじめをしない人」の数は、いじめをする人の数より多い。
- ・ 「いじめをしない人」が「いじめに気づく人」「いじめをとめる人」になれば、いじめは0に近づいていく。